

悔しがる力

2020年8月24日(月)

校長 田沢 幸夫

2学期始業式（放送）

短くて、そしてとても暑い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。まだ暑い日が続きますが、新しい気持ちでがんばってほしいと思います。新約聖書のイエスの言葉で「求めなさい」という内容のものが 있습니다。

求めなさい、そうすれば、与えられる。
探しなさい。そうすれば、見つかる。
門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。
誰でも、求める者は受け、
探すものは見つけ、
門をたたく者には、開かれる。

この聖書の言葉のように、努力して求め続ける人に、神は道を開いてくださいます。

最近、将棋の藤井聡太さんが話題になっていますが、彼は18歳1か月の史上最年少で二冠を達成し、八段に昇段しました。藤井聡太さんの師匠、杉本昌隆さんが、本の中で彼の強さの秘訣を語っています。

藤井聡太さんは小学生のころから、負けず嫌いでした。小学2年の時は、負けると将棋盤を抱きかかえて号泣していたそうです。この悔しいとおもう気持ちを、杉本さんは「悔しがる力」と言って、たいせつなことだと指摘しています。

また、自分で考えることも大切です。杉本さんは師匠だからといって、藤井聡太さんに細かいことを教えたわけではありません。特に将棋の世界では、自分で考えぬいてこそ強くなれるのです。

杉本さんは名古屋で将棋研究室を開いていますが、藤井聡太さんもこの研究室に参加していて、将棋について遠慮なく意見を言い合うのが最高の学び場になっているそうです。

さて、みなさんも勉強や部活でがんばると思いますが、杉本さんが言っている「悔しがる力」「自分で考えること」「意見を言い合うこと」などは、皆さんの学校生活でも大切だと思います。この2学期、探究心と、いい意味でのライバル意識をもって、共にがんばってほしいと思います。皆さんの活躍に期待します。